

主論文の要旨

Significant association of *urokinase plasminogen activator* Pro141Leu with serum lipid profiles in a Japanese population

※ 英文タイトルの大文字・小文字の使い分け、イタリック、スペース等を原著に揃える

日本人の一集団におけるウロキナーゼ型プラスミノージェンアクチベーター多型Pro141Leuと血清脂質特性との有意な関連

※ 全ての書類の日本語訳について、こちらと同題目にしてください。

論文博士の方は全員、総合医学専攻です。

講座名、分野名はHPの2024年度のシラバスで確認してください。

名古屋大学大学院医学系研究科 総合医学専攻

病態内科学講座 糖尿病・内分泌内科学分野

原則、指導教授(教授、または代理教授。不在の場合は准教授 → (指導 : ○○ ○○ 教授) または特命教授)

不明な場合はお問い合わせください。

鶴舞 花子 ←戸籍抄本の氏名 旧字体に注意

留学生は自国で発行された卒業証明書のとおり記載のこと